

研究に関する情報公開文書

| | |
|-------|--|
| 研究課題名 | 経皮黄疸計を用いた新生児黄疸の管理法の確立 |
| 研究期間 | 実施許可日～ 2026年12月31日 |
| 研究の内容 | <p>【目的】 新生児黄疸は核黄疸などの重篤な後遺症をきたしうる疾患であるため、早期の適切な診断が重要です。近年、新生児にとって侵襲性の少ない経皮黄疸計によるビリルビン（以下、経皮ビリルビン）測定法が開発されましたが、その信頼性は必ずしも明らかではありません。</p> <p>同一日に測定した血清ビリルビン値と経皮ビリルビン値を比較し、その相関性を明らかにすることにより、経皮黄疸計を用いた安全な新生児黄疸管理法を確立することが本研究の目的です。</p> <p>【方法】</p> <ul style="list-style-type: none">●対象となる患者さん 2015年1月から2025年5月までの間に当院で出生したお子さん。●利用する検体、カルテ情報 出生児の背景（週数、性別、出生体重、基礎疾患、血液検査データ、栄養方法）、同一日に測定した血清ビリルビン値・経皮ビリルビン値。 <p>【外部への資料・情報提供】 なし；自施設のみで使用</p> <p>【利用範囲】 本研究結果が公表される場合にも、研究対象者個人を特定できる情報を含みません。また、本研究の目的以外に、本研究で得られた情報は利用しません。</p> <p>【研究組織】 研究代表者：名寄市立総合病院 小児科 中村英記</p> <p>【問い合わせ先】 本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>照会および研究への利用を拒否する場合の連絡先 担当者：名寄市立総合病院 小児科診療部長 中村英記 住所：〒096-8511 名寄市西7条南8丁目1 TEL：01654-3-3101</p> |